**学校における働き方改革の基本的な考え方**

▽　学校における「働き方改革の推進」には，次の捉え方が大事だと思っています。

**学校の組織自体が，「協業と分業」の仕分けを基に有機的かつ合理的に構築されていて，**

**構成員全体が，組織目標の実現に向けて，効率的で効果的な業務遂行ができるように，**

**組織マネジメントを機能させること**

▽　そのためには，学校が機能すること（水準の高い教育を行うこと）を大前提としつつ，担い手

である教員の職業人としての「やりがい・手応え」が考慮・反映された，**当該職場・組織の実情**

**を踏まえた実際的な方策**が必要で大事になります。

▽　「働き方改革の推進」が取り組まれるようになってから既に一定の年数が経過してきているこ

とを踏まえて組織基盤が一定程度にできていることを前提として，次の４つの視点・捉え方が

大事なことと思っています。

**◆　機運の醸成**

　　**◇　国・県の動向の把握と共有**　・・・　「情報共有」の工夫で，職場での「共通土俵」化が可能

　　**◇　「自校の課題」を踏まえた「自校の働き方改革の方針・考え方」の明確化**

　　　＊一般論を踏まえつつも，自校の実情・課題を踏まえて，自校の方針の明確さが軸になる

**◆　従事時間の総量設定の考え方**

　**◇　内実の精査が重要**　　・・・　業務量データの特徴　⇒　分担配置分析・個人傾向分析

＊特定個人の量が多い場合，２極分化の場合など，分掌配置・分担業務などとの相関分析

**◇****改善目的・考え方・手順の共有**

　　　＊国・県のガイドラインを前提としながらも，基準数値を機械的に当てはめずに，目的・考え

方・手順などの共有や，職場・個人の実情との整合性，背景分析などの柔軟さが必要

**◆　仕事・業務の「質の改善」**

　　**◇　組織・仕組みを整える**　　⇒　合理的，効率的，効果的な組織マネジメントが重要

　　　＊全体方針・考え方（組織・部署・指導などの方針・ルール）の「見える化」と共有

　　　　⇒方針・ルールがあることで，その都度の手間・手順などの簡略化・効率化が可能

**◇　具体的で実際的な事例の共有**

　　　＊自校・他校の具体的で実際的な事例を共有し，実践してみることが重要

**◆　やりがい・手応えとの連関**

　**◇　全体的な「教育活動方針」と自分の業務との整合性**　・・・　方針理解を元にした納得感

**◇　教員の「個性」も尊重する考え方が必要で大事**

　**◇　教育の普遍的な価値・意義との連関性**　・・・　「大きな価値・意義」との繋がりの理解



